

(別紙)

副専攻プログラム説明書

設置類等〔共通教育部(総合文化部会)〕

プログラム責任者〔小野 響〕

名称	(和文) 国際教養 (韓国朝鮮)
	(英文) Cross-Cultural Study (Korean)
1. 概要・テーマ	国際教養として、韓国朝鮮語、ならびに、外国文化・自国文化を学習する。
2. 到達目標	新聞程度のハングルを読解することができること、留学が可能なだけの韓国朝鮮語コミュニケーション能力を身につけること、外国文化に対する基本的姿勢を身につけること。
3. 履修要件、受入れに係る条件等	韓国朝鮮語第一、韓国朝鮮語第二、選択韓国朝鮮語第一、選択韓国朝鮮語第二、韓国朝鮮語演習、韓国朝鮮語運用演習の単位を取得していること。
4. 開講科目	<p>〔基礎的科目群〕</p> <p>基礎的科目群(A)：韓国朝鮮語第一(1単位)、韓国朝鮮語第二(1単位)、 選択韓国朝鮮語第一(1単位)、選択韓国朝鮮語第二(1単位)</p> <p>基礎的科目群(B)：韓国朝鮮語演習(2単位)、韓国朝鮮語運用演習(2単位)</p> <p>〔発展的科目群〕</p> <p>発展的科目群(A)：外国語とその運用A【韓国朝鮮語】(2単位)、 外国語とその運用B【韓国朝鮮語】(2単位)</p> <p>発展的科目群(B)：比較文化論(2単位)、文化と言語(2単位)、文化干渉論(2単位)、地域文化論(2単位)、国際文化論(2単位)、文化形態論(2単位)、ドイツ倫理学(2単位)、倫理学と哲学の間(2単位)、江戸の社会と数学(2単位)、伝統科学と近代科学の相克(2単位)</p> <p>〔認定可能な科目〕 なし</p>
5. 修了要件	<p>基礎的科目群(A)から4単位</p> <p>基礎的科目群(B)から4単位</p> <p>発展的科目群(A)から4単位</p> <p>発展的科目群(B)から8単位</p> <p>以上の20単位の取得が必要である。</p>
6. 注意点	なし